

平成 2 4 年 度

工 事 事 務 監 査 結 果 報 告 書

熊 野 市 監 査 委 員

熊 監 第 1 1 2 号
平成 2 4 年 1 0 月 2 2 日

熊 野 市 長 河 上 敢 二 様

熊野市監査委員 山本 時生
熊野市監査委員 山本 洋信

平成 2 4 年度 工事事務監査の結果報告について

地方自治法第 1 9 9 条第 5 項の規定に基づき工事事務監査を実施したので、
同条第 9 項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

目 次

第1 監 査 の 種 類	1
第2 監 査 の 実 施 期 間	1
第3 監 査 の 対 象	1
第4 監 査 対 象 の 概 要	1
第5 監 査 の 方 法	1
第6 監 査 の 主 眼	2
第7 監 査 の 結 果	2

第 1 監査の種類

地方自治法第 199 条第 5 項の規定に基づく随時監査

第 2 監査の実施期間

平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 10 月 16 日

第 3 監査の対象

平成 21 年度から平成 23 年度までの 3 年間の工事請負契約のうち、各課より契約金額が多額なものから順に各年度の上位 3 件を抽出し、その中の 1 件を監査の対象とした。

第 4 監査対象の概要

- 1 工事の名称 新鹿小・中学校、保育所改築工事
- 2 工事の場所 熊野市新鹿町中山地内
- 3 請 負 金 額 687,750,000 円
- 4 請 負 業 者 株式会社 榎本工務店
- 5 設計及び施工監理者
株式会社 前田建築設計事務所
- 6 工 期 平成 22 年 8 月 2 日から
平成 24 年 3 月 19 日まで
- 7 工 事 内 容 旧新鹿小、中学校の校舎を解体・撤去し、小学校の敷地に
小学校、中学校、保育所を一体的に建築整備するもの。
 - (1) 校舎棟 鉄骨造 2 階 2,360.50 m²
 - (2) 保育所棟 木造 平屋 177.53 m²
 - (3) 渡り廊下棟 鉄骨造 平屋 23.27 m²
 - (4) 屋外便所棟 木造 平屋 26.74 m²
 - (5) 屋外倉庫棟 木造 平屋 29.18 m²
 - (6) 保育所屋外物置 木造 平屋 8.28 m²
 - (7) 外構整備
 - (8) 中学校校舎改修
 - (9) 小学校、中学校既存施設解体
- 8 そ の 他 平成 24 年度において屋内運動場改築工事等を施工中

第 5 監査の方法

平成 21 年度から平成 23 年度までの工事について、工事請負契約及び工事関係委託契約の執行に係る設計図書等の関係書類の提出を求め、これを照合、確認するとともに、関係者から聞き取りを実施した。

第6 監査の主眼

対象工事に関する事務の執行が適法・適正かつ効率的に行われているか、設計書数値等に誤りがないかなどを主眼とした。

第7 監査の結果

工事に関する事務の執行について、計画・調査・設計・仕様・積算・契約・施工管理・監理（監督）・試験・検査等の各段階における工事関係書類は整理されており、おおむね適正に実施されていた。

また、設計書数値等についても、照合及び点検を行った結果、計数はおおむね符合していると認められた。

1 事業計画について

平成20年度に策定された改築事業整備方針基本方針では、「地域の協力を得ながら、子どもを守り育て、地域の子育ての拠点となる新鹿学校」を創造するために、保育所、小学校、中学校の連携と交流を促進するため合築を計画し、併せて、安全・安心な建物、維持管理の容易な建物、地域の避難場所としての機能を持つ建物などを総合的に検討された。

設計段階では、東海、東南海、南海地震が連動して発生した場合の津波高については発表されておらず、建設途中の平成23年度に三重県が発表した3地震が連動して発生する津波については、最大波津波到達時間13分、最大津波高16.14mであった。新鹿小学校運動場の標高が19.3mであるが、遡上を考慮すると必ずしも安全とは言えず、近くの高台への避難も考慮する必要がある。

このことから、在園、在校中に大きな地震が発生した場合において、誘導や援助を要する園児及び小学校低学年の児童等を考慮した避難訓練を日頃から重ねる必要がある。

2 入札及び契約について

（1）入札の経緯

指名競争入札にて3者に指名通知を送付し、全者応札した結果、予定価格に対し98.9%で落札された。

（2）契約関係書類

施工関係の契約書類は、適正に整理されていた。なお、契約条項について、第48条の規定による火災保険等の加入契約を締結した時は、その証券又はこれに代わるものを市に提示するよう指導されたい。

3 各関係法令に基づく諸届について

- (1) 施工するにあたり遵守すべき以下の法律に係る申請書類は、届出し整備されていたが、一括して整理し保存されたい。

関連法律：建築基準法、都市計画法、消防法、浄化槽法、学校教育法、景観法、健康増進法、建設工事等に係る資材の再資源化等に関する法、廃棄物の処理及び清掃に関する法、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法、エネルギーの使用の合理化に関する法（省エネ法）

- (2) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法（バリアフリー新法）に係る三重県ユニバーサルデザインのまちづくり条例で指摘のあった敷地内の通路、駐車場、昇降機のうち、敷地内の通路、駐車場については平成24年度の屋内運動場改築工事等と併せて施工している。なお、昇降機については、同法では設置の義務はない。

- (3) 新鹿区から寄付していただいた校舎北側敷地について、不動産登記法に基づき市への所有権移転登記と併せて、地目変更を実施されたい。

- (4) 解体の際に、騒音規制法に基づく三重県生活環境の保全に関する条例の届出が必要な大きな重機を使用する場合は、届出されたい。

4 施工管理について

品質及び安全管理について、工事の品質を確保するため、監理業務委託がなされ、一級建築士の資格を持つ現場主任技術者が配置されていた。また、現場体制、緊急時連絡表等の安全管理に関する書類は、整備されていた。

工事監理については、毎週開催された定例会議もしくは随時実施された打合せ等において指示・報告・承認等が行われるとともに、必要とされる書類は整備されていた。

5 設計書について

建築工事の中で、設計金額の高い「鉄骨工事」及び「木工事」を抽出し、実施設計書、精算設計書及び関係諸帳簿を照合した結果、関係諸帳簿において一部整備されていない部分があった。

- (1) 鉄骨工事

材料検収簿、納品書の数量が精算設計書より多く、適切であった。

- (2) 木工事

材料検収簿、納品書の数量が精算設計書より少なく、一部整備されていない部分があった。

(3) 設計の変更

変更すべき点については、その都度協議がなされ、滞りなく変更契約が実施されており、変更契約書にはその内容が明記されていた。

6 出来高・完成検査について

出来高検査及び完成検査については、各段階において書類検査及び現場検査が適正に実施されており、各種書類は適切に整備し整理されていた。

7 竣工図書について

工事完成写真をはじめ、工程表・工事日報、打合せ記録、材料検収簿、試験結果・施工結果報告書、使用材料報告書、納品伝票・送り状等、屋根材・防水材等保証書、取扱説明書、廃材廃棄物関係、工事施工計画書等の図書が適切に作成されていたが、一部整備されていない部分があるため、設計書等で整合性を確認し十分に管理されたい。